

岡田の生活への影響



新型コロナ特集第1回 (飲食店・食品スーパー編)

報 館 おなかだ



令和のはやり病は「新型コロナ」

緊急事態宣言は解除されたが、TV特集があればつい見てしまうという日々が未だに続いています。1月初めにはWHOが武漢発の新型ウイルスによる感染症を、COVID-19と命名したが、当初の読みは楽観的で、3月11日になって、「パンデミック宣言」がようやく発せられました。が、すでに100か国以上に拡散、11万人以上が感染、死者は4千人以上に達していました。

「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づく対策本部が設置され(3月21日)ましたが、すでに42都道府県に約1300名強の感染者と50名弱の死亡者が確認されていました。以後、メディア報道は過熱し、政府は4月7日には東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言を发出し、4月16日には対象を全国に拡大しました。5月25日に、1か月半ぶりに全国での緊急事態宣言を解除しました。

県内の公民館などの公的施設は、4月18日から当面の使用停止となり、6月1日以降の小中学校の「短縮・分散登校」から全校登校再開への流れに並行して、6月18日以降は、ほぼ通常の施設利用やイベント・会議などの開催が可能となりました。

とはいえ、感染リスクが低下したわけではなく、6月末時点では、感染者は世界の各国・地域で1千万人を超え、死者は50万人超

と報道されています。本邦でも、東京や大都會での感染者数の高低が続いています。「感染拡大予防と経済活動継続の両立/新しい生活様式」のスローガンが叫ばれています。が、ここ半年間の大騒ぎを、あなたは どう思いますか？

人類はこれまでいくつもの「はやり病」と対峙し、なんとか乗り越えてきました。今回のSARS-CoV-2ウイルスによるCOVID-19も、科学・医学・人類の叡智によって、必ず収束していくと私は信じています。集落の辻々や里道にひっそりと佇む道祖神・念仏塔・供養塔などが、今ほど目につくときはありません。

岡田地区の最大行事である夏祭りは、早々に中止となりましたが、田植えをし、果樹の摘花をし、粛々と農林作業に精出す人々の姿に、水不足に鍛えられてきた岡田人のDNAの強さを垣間みています。たかが、やはり病じゃないか！防げる手立てがあるならみんなでやるしかない！おらの家や集落には、やはり病は絶対入らせないぞ！そんな声なき声があるには聞こえていますか？

(岡田公民館長 富岡詔子)

岡田地区の飲食・食品スーパー状況 (5月末現在)

※今回は限られた数の店舗にしかお伺いできませんでした

店名	休業・時短など	執った対策	売上状況など	所感
食事珈房はしら	4月26日～ 5月6日休業	入口手指消毒 座席3割減 パーテーション設置	4月5月半減	
ごはんカフェ笑 ~emu~	5月は店内飲食中止 時短及びテイクアウト	入口手指消毒	4月7割減 5月5割減	「来店してください」と言いづらい
CAFÉ THE GROVE BEANS SHOP	平素よりテイクアウト 中心のため特に変わらず	入口手指消毒 座席減 パーテーション設置	カフェ部門は打撃大 豆販売部門は変わらず	ネット販売充実 テレワーク層には 追い風
炭火やきとん 百升亭わ	18:00～翌3:00を 14:00～20:00変更	テイクアウトメニュー に移行	3月から5割減	来てくださる常連さん には感謝している 信大生の動きが課題
そばの里 六助	4月19日～ 5月15日休業 その後時短	各テーブルへ消毒 アルコール 座席減 テーブル間つい立て設置	3月の宴会80%減 4月の宴会100%減	従業員の感染が 1番心配
食彩スーパーF	9:30～21:00を 9:30～20:00へ変更	出入り口4か所へ消毒剤 レジ周辺にポリシート設置 入口にマスク着用・体調管理記録	3月4月は売上増	

岡田地区が受けた影響

日本のみならず世界中で流行の新型コロナウイルスですが、この岡田地区でも影響を受けた事業所は少なくありません。自粛要請などを受け、この小さな地域にも大きな影響を及ぼす新型コロナ、改めてその恐ろしさを感じました。(塩倉 浅輪克裕)



た飲食店さんにお話を伺って
きました。

